

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 23 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009～2013

課題番号：21243001

研究課題名(和文) 帝国と植民地法制に関する実証的研究

研究課題名(英文) A Positive Study on the Legal System in Japanese Empire and Colonies

研究代表者

浅古 弘 (ASAKO, Hiroshi)

早稲田大学・法学大学院(法務研究科)・教授

研究者番号：90247198

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,100,000円、(間接経費) 10,530,000円

研究成果の概要(和文)：帝国と植民地統治という視点から、『岡松参太郎文書』等の歴史資料に基づき、東アジア諸国の近代法の形成に及ぼした相互の影響を実証的に明らかにし、そこにおける日本法の影響とその意義を考えるために、日本統治時代の裁判記録や関係者の文書を整理し目録を作成して、植民地法制に関する研究の基礎を整えようとの試みである。

「千種達夫文書」(1,282点)と「宮内季子文書」(436点)の目録をWeb上に公開した。また、日本統治時代の台中地方法院刑事判決原本及び裁判関係資料326冊40,033件の仮目録を作成した。この間に「帝国と植民地法制」研究科を6回、国際学術シンポジウム「帝国と植民地法制」を1回開催した。

研究成果の概要(英文)：This project is an attempt to provide researchers with fundamental documents on colonial laws in Japanese Imperial Period to depict influence of Japanese Law on modern legal system in East Asia and to study differences of socio-historical backgrounds among countries and inter-comparison of each system, using comparative framework between Imperial Japan and her colonies based on archives of "Okamatsu Santaro Monjo Documents" and so on.

Web catalogues of "Chigusa Tatsuo Monjo Documents" (1282 items) and "Miyouchi Kishi Monjo Documents" (436 items) donated to Waseda University Library are open to public. A tentative archival catalogue of "Judicial Records of Taichung District Court in Colonial Times" (40,033 cases of 326 volumes) in Academy for the Judiciary in Taiwan has been created. In this process, 6 study sessions on "The Empire and the Colonial Legal System" and 1 International Symposium on the same topic were held.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：法学・基礎法学

キーワード：法制史 判決原本 植民地 台湾 朝鮮 東アジア 岡松参太郎 近代法

1. 研究開始当初の背景

(1) 早稲田大学図書館に寄贈された「岡松家旧蔵図書・文書資料」、「千種達夫旧蔵文書資料」及び「宮内季子旧蔵文書資料」並びに台湾に現存する日本統治時代の裁判記録を、東アジア近代法制資料として研究に供するために、適切な方法を確立し、学界共有の財産として公開利用できるように整理し、目録作成を行ってきた。

(2) この作業を通して、東アジア諸国のなかで一步先んじて西欧法を受容し近代化を行なった日本法が、東アジアの国・地域の法に、植民地支配あるいは留学生や近代法典の編纂事業に対する法整備支援を通じて、大きな影響を与えたばかりでなく、東アジアの各地域の法が互いに影響しあっていたこともわかってきた。

(3) こうした東アジア諸国の相互の関係を意識しながら、帝国による植民地支配が東アジアにおける近代法形成に与えた影響を検証しようという研究は、これまでほとんど行われてこなかった。

(4) 日本統治時代の台湾・朝鮮の裁判記録による研究は個別事案を対象とするもので、現存する裁判記録を全て整理し、臺灣大學王泰升教授のプロジェクトと協働して、学界に供しようとするものであり、こうした基礎的作業はまだない。韓国については、日本統治時代の裁判記録の現在調査も日本ではほとんど行われていない。

2. 研究の目的

本研究は、(1)帝国と植民地統治という視点から、『岡松参太郎文書』等の歴史資料に基づき、東アジア諸国の近代法の形成に及ぼした相互の影響を実証的に明らかにし、そこにおける日本法の影響とその意義を明らかにするために、(2)早稲田大学図書館に寄贈された「千種達夫旧蔵文書資料」及び「宮内季子旧蔵文書資料」並びに台湾及び韓国に現在する日本統治時代の判決原本などの裁判記録を、研究資料として利用できるよう、目録を作成し、これを公開することによって、植民地法制に関する研究の基礎を整えようとの試みである。

3. 研究の方法

(1)本研究の目標を達成するために、「岡松文書研究班」・「千種達夫文書研究班」・「裁判記録研究班」の三つの研究グループを組織し、「岡松文書研究班」は「宮内季子旧蔵文書資料」を公開するために目録を作成するとともに「岡松参太郎文書」の翻刻公刊を目指し、「千種文書研究班」は「千種達夫旧蔵文書資料」を公開するために目録を作成し、「裁判記録研究班」は日本統治時代の台湾と韓国に現在する裁判記録を学界に紹介するために必要な現地調査と目録作成を行う。

(2)これまでの「科研の成果」と各研究グループの基礎的な作業をもとに、海外の研究者

の参加を得て、研究会を定期的に開催し、帝国日本の形成と植民地統治を実証的に研究する。

4. 研究成果

(1) 早稲田大学図書館所蔵の「千種達夫文書」(1,282点)の目録DBを早稲田大学東アジア法研究所のWeb上に公開し、早稲田大学図書館での「千種達夫文書」の利用を可能とした(<http://www.waseda-eals.com/>)。「千種達夫文書」は、満州での旧慣調査や家族法の立法に関係する資料、判決の起案文書・既済材料・調査草稿、家庭事件のメモなどの裁判官としての活動に関係する文書、原稿やノート類、穂積重遠らの知友からの書簡などが含まれている。これらは、法制史、社会史、植民地史、東北アジア史といった歴史研究ばかりでなく、戦後の家族法や労働法に関する理論や実務に関係する資料もあり、法律学においても広く活用しうる資料群である。

(2) 早稲田大学図書館所蔵の「宮内季子文書」(436点)の目録DBを早稲田大学東アジア法研究所のWeb上に公開し、早稲田大学図書館での「宮内季子文書」の利用を可能とした(<http://www.waseda-eals.com/>)。「千種達夫文書目録」と「宮内季子文書目録」の横断検索も可能にし、利用者の便を図った。「宮内季子文書」は、宮内季子と妻適(かなふ)や岡松参太郎らとの間の書簡を中心とした436点におよぶ資料群である。宮内季子は、岡松参太郎の指示により、台湾及び満洲における旧慣調査の実際を取り仕切った人物であり、旧慣調査の実相あるいは台湾と満洲の旧慣調査の連続性を検証する資料として活用しうる資料群である。その意味において「岡松参太郎文書」を補完する資料群であるといえる。

(3) 台湾法務部司法官学院(旧司法官訓練所)が保管する日本統治時代の台中地方法院刑事判決原本及び裁判関係資料326冊40,033件の採録が終わり、「刑事裁判記録仮目録明治期・大正期〔未定稿〕」及び「刑事裁判記録仮目録昭和期〔未定稿〕」としてまとめた。仮目録化が未済に終わった刑事判決原本は9冊である。2014年度中に完了の予定。

(4) 「帝国と植民地法制」研究会を開催した。

・第1回(2009年6月6日 早稲田大学)
[研究報告]
浅古弘「司法官訓練所所蔵の刑事裁判記録について」

・第2回(2009年10月3日 早稲田大学)
[研究報告]

藤野裕子「宮内季子文書の概要と整理状況」

藤野奈津子「岡松参太郎とローマ法 - わが国におけるローマ刑事法研究の始め」

岡松暁子「岡松参太郎と大連」

・第3回(2010年7月10日 早稲田大学)
[研究報告]

浅古弘「東アジアに於ける記録管理法の

比較 - 韓国・中国・台湾」
中網栄美子「19世紀末韓国で行われた日本の領事裁判に関する実例報告」
・第4回(2010年9月7日 熊本大学)

[研究報告]

岡本真希子「朝鮮総督府官僚の任用制度と俸給制度 - 朝鮮・台湾・本国、交錯する法域と民族 - 」

山中至「謀殺と故殺の区別について - 台湾司法官訓練所所蔵刑事裁判記録を素材として」

・第5回(2011年7月9日 早稲田大学)

[研究報告]

藤野裕子「裁判記録「謄抄本」の可能性と課題 - 東京弁護士会・第二東京弁護士会合同図書館所蔵資料から考える」

田口守一「米施政下の沖縄における刑事裁判について」

・第6回(2013年6月29日 早稲田大学)

[研究報告](テーマ:「帝国憲法下の司法官僚と弁護士の役割」)

岩谷十郎「“学識”判事登場の近代法史的意義」

橋本誠一「岩谷著書へのコメント」(岩谷著書 = 『明治日本の法解釈と法律家』)

村上一博「大正・昭和戦前期の弁護士研究 布施辰治を中心に」

(5) 国際シンポジウムを開催した。

早稲田大学・全国立大学校学術シンポジウム「帝国と植民地法制」(2009年7月18日 早稲田大学)

[研究報告]

柳全哲「韓国刑法に及ぼした日本刑法の影響」(コメンテーター:松原芳博)

成升鉉「韓国民法における債務不履行類型三分論の形成と日本民法学」(コメンテーター:浦川道太郎)

成仁善「日本植民地時代の行政法制」(コメンテーター:岡田正則)

金淳錫「日本植民地時代の会社法」(コメンテーター:江頭憲治郎)

鄭鍾休「韓国法近代化における梅謙次郎の役割」(コメンテーター:李英美)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計8件)

田口守一、日本から見た中国新刑事訴訟法、刑事法ジャーナル、査読無、35、2013、18-28

藤野裕子、刑事裁判記録マイクロフィルムの公開について:東京弁護士会・第二東京弁護士会合同図書館所蔵、歴史評論、査読有、750、2012、81-90

田口守一、日本と韓国における国民の私法参加制度、刑事法ジャーナル、査読無、32、2012、112-116

中網栄美子、領事裁判権に関する基礎的

考察と残された課題、みんけん、査読無、664、2012、95-109

藤野裕子、戦前日傭い男性の対抗文化 - 遊蕩的生活実践をめぐる、歴史評論、査読有、737、2011、4-19

藤野奈津子、戦前の日本人 - 岡松参太郎のこと、CUC[View & Vision]、査読無、31、2011、28-33

藤野奈津子、岡松参太郎とローマ法研究 - 『岡松参太郎文書』の手稿からみえてくるもの、千葉商大論叢、査読無、48-2、2011、57-84

藤野裕子、日比谷焼討事件は誰が扇動したか、歴史読本、査読無、859、2010、170-175

[学会発表](計1件)

浅古弘、日本統治下独立運動與治安維持法之適用:以台湾和朝鮮的比較为中心、国立台湾大学法律学院法律與社会研究中心2014年国際学術研討会、2014年2月27日

[図書](計3件)

藤野裕子ほか、歴史学のアクチュアリテイ、東京大学出版会、2013、267(123-135)

山崎広道編・山中至ほか著、法と政策をめぐる現代の変容、成文堂、2010、469(253-276)

王泰升主編・新田一郎・浅古弘ほか合著、跨界的日治法院档案研究、元照出版公司、2009、393(225-284, 311-347)

[その他]

ホームページ

<http://www.waseda-eals.com/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

浅古弘 (ASAKO, Hiroshi)

早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・教授

研究者番号: 90247198

(2) 研究分担者

新田一郎 (NITTA, Ichiro)

東京大学・大学院法学政治学研究科・教授
研究者番号: 40208252

山中至 (YAMANAKA, Itaru)

熊本大学・事務局・理事/副学長
研究者番号: 90167718

田口守一 (TAGUCHI, Morikazu)

早稲田大学・法学学術院(法務研究科)・教授

研究者番号: 80097592

浦川道太郎 (URAKAWA, Michitaro)

早稲田大学・法学学術院・教授

研究者番号: 90063792

加藤 哲夫 (KATO、Tetsuo)
早稲田大学・法学学術院(法務研究科)
研究者番号: 90063809

小澤 隆司 (OZAWA、Takashi)
札幌学院大学・法学部・教授
研究者番号: 10347734

近藤 佳代子 (KONDO、Kayoko)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 40153712

西 英昭 (NISHI、Hideaki)
九州大学・法学研究院・准教授
研究者番号: 50323621

藤野 裕子 (FUJINO、Yuko)
東京女子大学・現代教養学部・専任講師
研究者番号: 70386746

江 正殷 (KO、Seiin)
早稲田大学・国際課・専任職員(管理職)
研究者番号: 10308249

(3)連携研究者

岡松 暁子 (OKAMATSU、Akiko)
法政大学・国際環境学部・教授
研究者番号: 40391081

五島 京子 (GOTO、Kyoko)
国土館大学・法学部・教授
研究者番号: 20279095

中網 栄美子 (NAKAAMI、Emiko)
早稲田大学・法学学術院(法務教育研究センター)・招聘研究員
研究者番号: 10409724

藤野 奈津子 (FUJINO、Natsuko)
千葉商科大学・商経学部・准教授
研究者番号: 90318717